



校報 きたやま



第11号 令和2年2月28日発行

東村山市立北山小学校

新型コロナウイルス感染症の学校対応について

校長 齋藤 健二

日頃より、学校教育にご協力いただき感謝申し上げます。

このたび、新型コロナウイルスの感染症対応に関する対応方針が、東村山市教育委員会から出され、学校もそれに則って対応を行います。詳しくは、右面をお読みください。

子供たちにとって3月は学習のまとめの時期であるとともに、学級納め、学年納め、そして6年生にとっては卒業という大切な時期です。この様な時期に登校できないことは残念なことです。ですが、何よりも大切なのは命です。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、臨時休業の趣旨をご理解いただき、子供たちに家庭での生活を安全に送らせてあげてください。

今後、新型コロナウイルス感染症の様子にもよりますが、現状

全学年 登校日…3月23日（月）平常通り登校 1時間授業…荷物の持ち帰り

全学年 修了式…3月24日（火）平常通り登校 1時間授業…通知表・修了証
荷物の持ち帰り

6年生 卒業式…3月25日（水）規模を縮小して実施

を予定しております。詳しい日程は後日メールで配信いたします。

（本今朝にメール配信をいたしました。もしそのメールが届いていないご家庭がありましたら、ご連絡ください。）

学習に関しては、休業中に行う内容等、本日子供たちに連絡しました。持ち帰った学習課題に取り組みさせてください。（必要に応じて学年メール・担任から連絡をいたします）また、6年生の卒業アルバム作成に関しては、担任より個別に連絡いたします。

何分不測の事態ですので、各ご家庭での対応が大変だと思っておりますが、子供たちが安全・安心に過ごせるための措置です、ご協力をお願いします。

展覧会の様子

展覧会担当より

2年に1度の北山小展覧会が無事に終了しました。保護者、地域の皆様からも温かい声をたくさんいただきました。ありがとうございます。

北山小展覧会では、校舎内全体が子供たちのパフォーマンス・ステージだと考えています。作品はその子自身の表現活動です。自分で試行錯誤したり、実験したりしながら見つけたことや、表現された造形は、その子でしか造形できない唯一のものであり、深い学びにつながります。また、一人一人の作品の「力」が響き合った体育館は、場に働きかける大きなインスタレーションを体感できる空間ともいえたいでしょう。



最終日の造形タイムは子供が子供に還るプリミティブな時間です。6年生のお練りの中に、下級生が飛び込んだり、保護者の方や卒業生も巻き込んで、興奮が大きな「うねり」となっていく様子は、もしかしたら大昔、はっけんの森に住んでいた古代の人々の「楽しい宴」とシンクロしていたのではないかなあとイメージは膨らみます。図画工作科の目標に、「感性を働かせ、豊かな情操を養う」とあります。子供たちも含め、あの場にいた皆さんが、感性を働かせてワクワクドキドキし、豊かな気持ちになれていたとしたら、幸いです。

今回も、保護者の方から材料を提供していただいたり、地域の方から竹をいただいたりしながら、北山小ならではの展覧会を実施することができました。保護者、地域の皆様からの多大なご協力とご配慮、心から感謝申し上げます。2年後の次回もどうぞよろしくお願いいたします。



1年

初めての展覧会に大興奮の1年生。いつもとはまったく違う体育館に、目を輝かせていました。鑑賞の時間には、体育館のすみからすみまでをじっくり観て回っていました。自分たちも作ってみたい・描いてみたいと、創作意欲をわかせていました。



造形タイムの時間は、手作りのスコープカメラで写真をたくさん撮ろうと、6年生のお練りの列を夢中で追いかけていました。



アート給食も含め、「創造の喜び」を満喫した2日間でした。2年後の展覧会が今から楽しみです。

2年



2年生にとっては初めての展覧会でしたが、「とても楽しい」という話を聞いて、みんなワクワクしながら待ちました。自分たちの作品だけでなく、他学年の作品のきれいなところ、面

白いところにも注目して楽しむことができました。

造形タイムでは、お練りに付いていき、一緒に楽しむ姿が多く見られました。この時のために作った「ズームなぼうえんきょう」も大活躍で、覗いてみたり、楽器にしたりといろいろな使い方をしていました。次の展覧会が今から待ち遠しいようでした。



3年



3年生にとって、展覧会は2回目です。いろいろな学年の作品を目と心で楽しみ、お練りでは初めて自分たちで作った楽器を使って、体でリズムを感じました。いろいろ

な学年の作品を鑑賞しながら、「これ作りたい。」と、胸を弾ませながら話していました。2年後の展覧会も楽しみです。



4年

4年生は、2回目の展覧会。子供たちは図工で、自分の思い思いの作品をのびのびとつくり出すことができるのでいつも楽しみにしています。今年の展覧会も体育館に個性豊かな作品が並びました。どの作品にも見どころがあり、鑑賞しながら作品の世界観を楽しみました。

4年生の「ミステリーロード」は今回も大人気で、他の学年が何度も何度も通る姿を見て、4年生も嬉しそうでした。

1日目のアート給食では、食材を上手く盛り合わせて、顔を作ったり、好きなマークを作ったりしてそれぞれのアートを楽しみました。2日目の造形タイムでは、自分で作った「北山カチカチ」をお練りに合わせて鳴り響かせ、学校全体で作り出すアート

作品を思い切り表現することができました。



5年

5年生は、3回目の展覧会。北山小学校での最後の展覧会となりました。休み時間には、カメラ屋さんになって「カオ・ダシ・アート」で写真撮影をしました。他の学年や保護者の方にもたくさん「カオ・ダシ」をしていただき、子供たちも大満足な様子でした。



造形タイムでは、図工の時間に作ったオリジナルの太鼓を持って、6年生とミュージシャンのお練りに参加しました。気持ちの高まりを音やリズムにして、自由に表現することができました。子供たちにとって心に残る最後の展覧会でした。



6年

展覧会1日目に、6年生は子供学芸員として会場にいられた保護者の方や、鑑賞をしている下級生に作品の良さを紹介しました。作品に込めた思いなどを紹介することで、より作品に見応えが増したと評判でした。



展覧会2日目の5校時には、造形タイム「ココロオトプロジェクト」で学校中練り歩きました。中庭に着くと、全校がオリジナル楽器を使い、リズムに合わせて音を奏でて、一体感を感じることができました。6年生はその中心にいることに達成感を感じることができました。2日間、学校行事に大きく関わったことで、卒業前にまた一つ、忘れられない思い出ができました。

保護者の皆様

東村山市教育委員会
教育長 村木 尚 生
東村山市立北山小学校
校長 齋藤 健 二

新型コロナウイルス感染症対策本部の要請に基づく学校の対応について

日頃より本校の教育にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、令和2年2月27日に開催された政府第15回新型コロナウイルス感染症対策本部における要請に基づく学校の対応について、下記のとおりの対応とさせていただきます。学年末の大切な時期ではございますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況を踏まえ、対応方針につきましては適宜見直すこととしております。

記

1 学校の臨時休業の実施について

令和2年3月2日（月）から春季休業まで（令和2年3月25日（水））の期間、臨時休業とします。

なお、新型コロナウイルス感染の拡大を防止するための臨時休業の措置であるという趣旨を児童・生徒に理解させ、人の集まる場所等への不要・不急の外出を避け、基本的に自宅で過ごすようにしてください。

2 休業中における教育活動について

(1) 登校日の実施について

臨時休業期間中に登校日を1日設定し、児童・生徒の健康観察や配布物の受け渡し等、短時間で実施します。

登校日の日程については、学校ごとに設定します。実施日については、改めてお知らせします。

登校日は「授業日」としますが、保護者の意向で欠席する場合については、欠席扱いとはしません。

(2) 卒業式について

卒業式については、保護者、在校生及び来賓は参加せず、教職員及び卒業生のみで実施します。

(3) 修了式

修了式については、予定された日程で実施します。

登校時刻等については、後日、改めて通知します。

(4) 休業期間中の学習について

原則、自宅学習とし、学校から課題を提示します。部活動等の活動は行いません。

自宅学習の課題等については、後日、登校日や家庭訪問等により配布します。

学校に残った児童・生徒の学用品については、登校日等に持ち帰ることができます。

(5) 健康管理の徹底について

臨時休業中及び春季休業日中においても、マスクの着用や手洗い・うがい等の徹底を図っていただくとともに、児童・生徒等に感染等の体調の変化があった場合は、学校に連絡するようお願いいたします。

(6) 給食について

給食については、3月の実施をせず、集金及び返金等の対応を図ります。

後日、改めて保護者に周知します。 担当 副校長 高見沢正 電話 042-391-8190